

2023 年度一般選抜試験問題

国 語

注 意 事 項

看護学部志願者とリハビリテーション学部志願者では解答すべき問題が一部異なる。

看護学部志願者は ～ と を解答しなさい。

リハビリテーション学部志願者は ～ を解答しなさい。

1 別にマークシート式解答用紙が1枚ある。(例)

受験番号欄に受験番号5桁を記入し、マーク欄の該当するところをマークしなさい。

氏名を記入してはならない。なお、記入した受験番号やマークが誤っている場合や無記入の場合は、国語の試験が無効となる。

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークして下さい。

受験番号				
0	0	6	0	3
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 マークシート式解答用紙に科目名を記入し、その科目コードをマークしなさい。

科目名		国 語	
<input type="radio"/>	英語	<input type="radio"/>	数学 I ・ 数学 A
<input checked="" type="radio"/>	国語	<input type="radio"/>	生物基礎 ・ 生物
		<input type="radio"/>	化学基礎 ・ 化学
		<input type="radio"/>	物理基礎 ・ 物理
			適性能力試験
		<input type="radio"/>	英語 ・ 国語
		<input type="radio"/>	英語 ・ 数学

注意事項の続きは本冊子の裏にあります

I 次の文章は一九七〇年代に書かれたものである。これを読んで後の問いに答えなさい。

近代科学技術文明の破産ということが言われたすでに久しい。とくに、現今のいわゆる「公害」を始めとして、文化現象の破局的情況と評されるものまで、ほとんどすべての問題について、科学技術文明の「行きづまり」にその原因を求めるのが、今日的であるかのようにある。もちろん一方に、科学技術に対するありようのないような無反省なオプティミズムがあり、それに対する批判という形で現^あわれた科学技術文明否定の姿勢が、そうした傾向を助長していることは明らかである。しかし、一方から言えば、今日の文明の「行きづまり」は、単に科学技術にのみ^(ア)キすべきものではあるまい。

しかし、人間の手による自然支配という近代科学の最大のモテ^{*1}ーフが、一つの重大な結果を生み出していることだけは確かであろう。自然は、人間のため[、]に存在する。人間のためには、自然は、いかなる改変もあえて受け取らなければならないし、また人間にはそれだけの能力がある。

こうした感覚は、近代科学にとつて、自然現象の解明と、その解明を通じて得られる自然現象の人為的支配可能性という、最も基本的な立脚点の根柢を与えてくれた。これは、西欧の中世末期から近世にかけて顕著に現われた西欧思想の底流であり、それを欠いて近代科学技術はあり得なかつたであろう。^B

しかし、われわれの日本において、そうした自然の人為的支配をモテーフとする西欧近代科学技術を、文化の基本態として確立するということが、自然を人間の手で改変していくことに連なるのだ、という点をはっきり認識した形で行^おなわられていたのだろうか。

たとえば、ヨーロッパやアメリカの都市の公園の面積の多いのに比較して、日本の都市の公園の面積がきわめて少ないことがたびたび指摘される。それは事実には違いないのだが、だから日本は文明度がまだ低い、という発想を私はとりたくない。公園というのは、いわば、人工の自然である。自然を、人間にとつて都合のよい形で、都市という、自然から人工的に切り離された存在のなかに、あらためて持ち込もう、というのが、公園の発想であろう。そして、そうした形での人工的自然を、価値の上か

ら認めないのが、日本的な概念枠なのではないか。

であるとすれば、日本が、西欧近代科学技術の体系を本格的に導入して以来、一〇〇年が過ぎた現在でも、日本のなかに、西欧近代の思想的基調が定着しているわけではないことは、少なくとも部分的には、確言できる。

いうまでもないことではあるが、現在のわれわれ日本の情況は、西欧近代科学本来の問題と、こうした日本の特殊な問題とが重ねられているのであり、これらの点を混同するわけにはいかないのである。

西欧近代科学技術体系を直接構築している柱は、第一に原子論的な思考様式に代表されるような、^{*2} 第二に、そうした記述から得られる知識体系を足がかりにした自然の人為的支配にあった。前者は「科学」を、後者は「技術」を、それぞれ主として裏づけているものである。

この第一の観点は、これまで歴史のなかでもあまりにも見事な成功を収めてきたことよって、「科学」という概念そのものものよ

うになってしまっている。**II**、ここにまったく問題がないかといえば、そうではあるまい。自然現象を分析すること、分析された要素の状態を詳細に網羅的に描き上げることによって、分析されない前の現象を再構築すること、これこそ科学のありべき姿であって、それ以外の道は科学ではあり得ない、という立場が、近代西欧科学を築き上げるコンカンの思想であったけれども、その思想を先鋭化すればするほど、記述・描写されるべきものとの現象から脱落してしまうことがらがあつたことに眼を留めねばならない。

たとえば、全体的な概念を、脱落した一つのことがらの例として挙げられるであろう。アトムリズムとホーリズムとの対立は、科学の歴史を通じて、さまざまな局面に見られるが、近代科学の趨勢は、結局のところ、アトムリズムを極限まで追究する方向に向いていたと言えるだろう。できるだけ詳細、精密に、できるだけ網羅的に、という「精密科学」(exact sciences)の理念は、必然的にアトムリズムを **III** していたのである。

しかし、現在の科学理論とそれに基づく技術体系のなかで、漸く最大の難問の一つとなり始めている「パターン」を例にとれば、それが、心理学の分野で「ゲシュタルト」(Gestalt)という形で言い立てられて以来、多くの「科学的取扱い」の試みを受けな

がら、しかも、現在いまだに、これを統一的に取り扱う「科学」理論の出現を見ていないのである。これは「精密科学」のモティーフが推進してきた従来^Fの「科学」の方向に、欠落していた局面と言えないであろうか。

もちろん、数学で登場する「写像」という概念は、パターンの問題に対する西欧科学体系からの一つのアプローチを形成していることは事実である。あるいは、郵便番号読取機に見られるように、パターンという概念の把握のシミュレーションに、現代技術はある程度成功していると言える。けれども、少なくとも人間が、認識過程で行なっている「パターン把握」は、現在の科学理論や技術がトウ^ウタツしているような方法や形式では、完全に捉えることができないと考えられている。それは、数学の「写像」の概念の裏にあるような、集合とその元との間の「関係」を基礎とした要素論的、原子論的な方法でも、あるいは、郵便番号読取機のような、マトリックスを網羅的にスキャンしようとするやはり要素論的な方法でも捉え切ることのできないもののように思われるのである。

それは、端的に言つて、「全体的」な概念なのである。

別の例をとつてみれば、「生命」の問題にも、同じような視点があてはまる。仮に、ある単細胞動物とそれに栄養を与える培地とがあつて、それが完全に外界からシャダン^エされているとしよう。その閉じた系のなかの物質現象をコクメイ^オに分析的に調べ、それによつて、系のなかで起こつた現象を継時的に、網羅的に、書き並べることができたとしよう。その記述は、現在の科学理論から言えば、原子論的にならざるを得ない。

炭素原子や窒素原子や、燐原子の振舞いが、能う^オ限り詳しく記述されたとき、このとき、この系のなかの単細胞動物が、ある時刻(それは必ずしも、厳密な時間点である必要はなく、時間幅をもつたルースな時間であつてよい)を境に、死んだとしてみよう。先に描いた網羅的な原子論的記述を読み、調べたならば、問題の時刻を境に、その動物が、生の状態から死の状態へうつり変わったことが判る^{わか}であろうか。おそらく判るまい。

生とか死とかの概念は、そうした分析した結果の、要素の振舞いをいくら集めても得られるものではない。それらは、端的に、一匹の単細胞動物という「全体」を対象にして、はじめて得られる概念である。

(村上陽一郎『西欧近代科学』による。出題の都合上、一部中略した箇所がある)

(注)

*¹ モテーフ——動機。そのものを動かす要因。

*² 原子論——それぞれのものは、それ以上分割できない極微小な物質からなるという考え。後述される「アトミズム」もこれと同じ。

*³ ホーリズム——ある全体は、部分の算術的総和以上のものであり、部分や要素に分解することはできないという考え。全体論。

*⁴ マトリックス——ここでは「数字の羅列」といった意味。

問1 傍線部(ア)～(オ)に該当する漢字を含むものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

5

1

(ア) キ|す

1

- a 医学の発展にキヨする
- b キカクを立案する
- c 仏門にキエする
- d 前途をキグする
- e 勝利をキガンする

(イ) コン|カン

2

- a 同窓会のカンジを引き受ける
- b 相手の嘘(うそ)をカンパする
- c カンジンなどところで失敗する
- d 収益を社員にカンゲンする
- e カンケツな発言を心がける

(ウ) トウ|タツ

3

- a 初対面で意気トウゴウする
- b 絶好のチャンスがトウライした
- c トウテツした理論を展開する
- d 現実からトウヒしてはいけない
- e 最新の機能をトウサイする

(エ)

シヤダン

4

a シヤコウ心をおおる宣伝

b ヨウシヤない批判を浴びる

c 外はシヤジクを流す大雨だ

d 今はシヤニ無二努力すべきだ

e 遠くの山々がシヤヨウに映える

(オ)

コクメイ

5

a あまりにもザンコクな仕打ち

b 世界有数のコクソウ地帯

c 裁判長による無罪のセンコク

d 欲望をチヨウコクして成長する

e あたり一面シツコクの闇

問2 空欄

い。I

6

III

7

III

8

に入る語として最も適当なものを、次の各群の a e の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

I a 総合的

b 選択的

c 分析的

d 前衛的

e 理論的

II a さらに

b けれども

c また

d なぜなら

e たとえば

III a 超越

b 否定

c 止揚

d 峻別しゅんべつ

e 志向

問3 傍線部A「そうした傾向」とあるが、その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

9

- a かなり早い段階から、すでに近代科学技術文明は破産的情况にあったと見なす傾向
- b 「公害」を始めとする、さまざまな文化現象の破局的状況を明らかにしようとする傾向
- c 科学技術文明の行きづまりを認めることなく、その未来を前向きに捉えるという傾向
- d 科学技術の可能性をよみくもに信じて疑おうとしない姿勢を批判していくという傾向
- e 現代社会が抱えるさまざまな問題の原因を科学技術文明の行きづまりに求めるという傾向

問4 傍線部B「それ」が指示する内容として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

10

- a 科学で自然現象を説明しようという意識
- b 自然を説明や支配の対象と認識する立場
- c 中世から近世にかけて現われた西欧思想
- d 人間の持つ能力を過大に見積もる感覚
- e 自然は人間に支配されるべきだという思潮

問5 傍線部C「ヨーロッパやアメリカの都市の公園の面積の多いのに比較して、日本の都市の公園の面積がきわめて少ない」と

あるが、このような状況になった理由の説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

11

- a 日本人にとって都市は働く場所であり、憩いや癒やしは不要であるから
- b 日本の都市では建物が密集していて、公園など作る余地がなかったから
- c 日本の文化度自体は決して低くはないものの、欧米には劣っているから
- d 日本人が、公園を人工的な自然と位置づけ、その価値を認めていないから
- e 日本には、人間が自然を改変していくという姿勢が定着していないから

問6 傍線部D・Eの意味として最も適当なものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

D

12

・ E

13

D 先鋭化 a 批判的になる

b 急進的になる

c 利那的になる

d 具体的になる

e 反動的になる

E 趨勢

a 捉え方

b 激しさ

c 動向

d 厳密さ

e 詳細さ

問7

傍線部F「従来の『科学』の方向」とあるが、その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

14

a 対象を原子論的手法によってできるだけ詳細、精密に調べ上げること、そのありようを明らかにしていこうとする方向

b 対象の持つ個性や特殊性を排除し、あくまで数値的、数量的に調べ上げること、その本質を見極めていこうとする方向

c 対象の振る舞いを時間的な経過にしたがって厳密に調べ上げ、再現していくなかで、その性質を把握していこうとする方向

d 対象を細かい要素に分け、それぞれの要素間の関係性を綿密に調べ上げていくなかで、その全体性に迫っていこうとする方向

e 対象を一つの全体と捉え、そのありようを詳細かつ精密に調べ上げていくなかで、その全容を捉えていこうとする方向

問8 傍線部G「同じような視点」とあるが、その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

15

- a 現在の科学理論や技術体系をあてはめていくなかで、はじめて対象のありようが明らかになってくるという見方
- b 現代の科学理論やそこから生み出された技術にとって、対象のありようの把握が最大の難関になっているという見方
- c 現在の科学理論やそれを基に生まれた科学技術の限界を、対象のありようがわからずさまにしてしまうという見方
- d 現代の科学理論や技術体系への正確な理解がない限り、対象のありようの全体的把握は不可能であるという見方
- e 現在の科学理論やそれに基づく技術体系では、対象のありようを完全に捉え切ることなどできないという見方

問9

本文の内容に合致するものを、次の a ～ e の中から一つ選びなさい。

16

- a 自然は人間のために存在するという傲慢な考えに基づく近代科学やそれが生み出した科学技術が、現代文明を破滅に追い込もうとしている。
- b 人間には、自然を自分たちの都合のいいように改変できる能力が備わっているという西欧的な考え方が、近代日本の発展の原動力となった。
- c 対象を精密に網羅的に分析していくという近代科学の方法は、多くの成果を挙げてきたものの、その方法では捉えられないものも存在する。
- d 現代科学が抱える最大の難問の一つである、パターン問題の解明のために、全体論的手法としてのホーリズムが多大な貢献を果たした。
- e 生物にとっての生や死という出来事は、対象を客観化し物質的に扱う近代科学は関わるべきではない、厳粛なものなのである。

II 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

個性は、他人とのやりとりの中で磨かれる。日本の中に、個性を磨くために必要なコミュニケーションが不足しているわけはあるまい。むしろ、ノウコウ^(ア)すぎるくらいだろう。問題なのは、コミュニケーションの内実である。コミュニケーションにおける力学の働き方によっては、個性を大切にするアメリカのような国も、没個性をよしとする風潮が見られぬでもなかった一時期の日本のような国もできあがる。

i

他者とのコミュニケーションには、お互いを同質化する^(イ)ケイキがあることも事実である。とりわけ、ティーンエイジャーのときには、「ピア・プレッシャー」と呼ばれる、人と異なる見かけや振る舞いを排除しようとする傾向が顕著となる。中学生の頃、ちよつと変わったことをやってからかわれたり、また、自分もからかう側に立った経験がある人も多いだろう。同化作用は、コミュニケーションの程度^(イ)の差こそあれ必ずある。それは、大人になっても I に変わらないし、社会全体としても明確な傾向として存在し続ける。そのような同化のダイナミクスがエスカレートすればファシズムに通じることは、歴史が証言しているところである。

その一方で、コミュニケーションには、お互いの個性を際だたせる効果もある。同化作用のことを考えると逆説的にも思われるが、他者との濃密な関係性を持つことが、個性を際だたせるために必要なダイナミクスを提供するのである。そのことは、作曲家としてのモーツァルトの個性が、当時のウィーンを中心とする濃密な音楽サークルがなければ成り立たなかったことを考えても明らかであろう。歴史上、文化の領域においてユニークな個性の峰々が立つときには、その背後には必ずといっていいほど濃密な行き交いを^(ウ)ナイホウするコミュニティがあった。

コミュニケーションの持つそのような働きを「個性化作用」と呼ぶことにするとすれば、「同化作用」と「個性化作用」の

II

はどこにあるのだろうか。日本人のコミュニケーションの現状が、不幸にして「個性化作用」よりも「同化作用」が勝るものであるとするならば、そのような形勢を逆転するための「賢者の石」^{*1}はどこにあるのだろうか。

脳は、その中にある一千億の神経細胞の間のシナプスと呼ばれる結合部位を変化させることによって、その振る舞いを変えていく。このような脳の「学習」には、大きく分けて二種類ある。すなわち、正解が決まっています、もし間違えば「教師」がそれを教えてくれる「教師あり」学習と、正解がないか、あるいは正解があったとしてもそれが何なのかを教えてくれる「教師」がいない「教師なし」学習である。

「教師なし」学習のうち、重要なものは、ドーパミンをはじめとする脳内報酬物質のダイナミクスにもとづく「強化学習」である。ある行為をしたときに、結果として脳内報酬物質が放出されれば、そのことがトリガーとなり、その前の行為が強化される。その結果、脳内報酬物質の放出が、しだいに最大化されていくのである。

水や食物、金銭のような、外部的報酬は間接的には関与するものの、直接の原因にはならない。最終的に学習の方向性を決めるのは、あくまでも脳内報酬物質である。何をうれしいと感じるか、脳内の報酬の文化が、強化学習の方向性を決めるのである。

どのような「人格」を形成するかというテーマにおける「正解」は一つではない。極端に不安定な人格などを除いて、進化の淘汰圧の中でそれなりに生きのびることのできる人格には、さまざまな「解」がある。人格の形成は、脳内報酬系にもとづく強化学習の典型的な例であると考えられるのである。

すでに多くの研究が示しているように、脳内報酬物質を放出させるきっかけになる外部からのシグネキのうち、最も強力なものは、他人からの承認である。何かをやって、それが周囲に認められたり、ほめられたりしたときに、そのことが脳内のドーパミンをはじめとする報酬物質を放出させるのである。その結果、強化学習が成立することとなる。

人格形成において、他人とのやりとりが重大な意味を持つことは経験に照らしても明らかであろう。コミュニケーションのダイナミクスが「同化作用」をもたらすか、それとも「個性化作用」をもたらすかの **II** は、お互いに他人を承認ないしは否認する価値の構造の中にある。

社会の中のやりとりにおいて、他人と同じような振る舞いをしたり、最大公約数的な意見を表明した結果、周囲からポジティブなフィードバックを得ると、そのような「同化」のベクトルが強化されることになる。逆に、社会の風潮と異なる振る舞いや考え方が賞賛されれば、「個性化」のベクトルが強化される。「同化」も「個性化」も、同じくコミュニケーションの現場において成立する。そもそもコミュニケーションがなければ、「同化」も「個性化」も起こりえない。

^{*3} 冒頭に批判的に紹介した一時期の日本の論壇の風潮におけるように、「他人と同じこと」を是とし、そのような振る舞いをしたときにそれを肯定するというような報酬構造があると、社会は自然に均質化していく。一方、少し変わったことをしたほうが賞賛を得られるような状況が続くと、社会の中に個性が輝く人が増えていく。

少年モーツアルトが、どのような「報酬構造」の中にいてあのような個性を輝かせたか、いうまでもないだろう。当時のウィーンの宮廷が、他人と似たような振る舞い、全体の調和を何よりも優先するというような報酬構造を持った場所であったら、天才モーツアルトができあがることもなかった。脳の働きから複雑な社会の動きを断ずるのは、乱暴なようだが、そうすることで見えてくる真実もある。現代の日本の場合、「お互いに人と違ったことをやったらほめ合おう」というくらい割り切った行動規範にしてはじめて、社会が変わるくらいのダイナミクスに結実するのではないか。

ところで、「個性」といっても、それは他者との絶対的な差異を意味するのではない。たとえば、文化的な領域において、個人的な作品が輝き、多くの人に賞賛されるのは、それを理解することができてこそである。モーツアルトの音楽は、当時サリエリなどの流行作曲家に比べると、難しいという評判だった。それでもモーツアルトの音楽を同時代の人を受容したのは、リズムやメロディー、構成など、人々の間で共有されていた音楽の文法を身につけていたからこそである。

ここに、コミュニケーションを通して人々が個性を磨く際のきわめて重要な問題が提起される。すなわち、人間の「個性」とは、他人とのやりとりを通してカクトク（オ）される共通の基盤の上に構成されるものだとということである。この「共通の基盤」の核として、言語があることはいうまでもない。「個性」が社会の中で流通して、消費されるとき、そこには必ず社会全体で共有されている了解事項があるのである。

「権利」にも、いうまでもなく社会において共通の基盤がある。もともと、個人の権利が無限に認められるということはない。よく知られた「公共の福祉」による制約があるし、そもそも権利の保護や行使は個人では完結せず、司法制度を中核とする社会のインフラを必要とする。

重要なのは、権利の制約を導く概念として持ち出される「公共の福祉」のような概念を大文字のそれとして不用意に立ててしまわないことだろう。「権利」も、また、「個性」と同じように、人と人とのコミュニケーションにその起源を持つ。人々の権利認識もまた、脳の一般的な学習原理にもとづいて形成される。ある社会が「個性」や「権利」をどのように扱うかは、第一義的には、コミュニケーションの現場で人々が何を是とし、何を非とするかという価値観と、それを受けた脳内の報酬系のダイナミクス、そして強化学習によって決定される。

他者との共通基盤があつてこそ、「個性」は輝く。この IV の中にこそ、コミュニケーションに支えられて今、ここにある私たち人間の本質を考えるための大切なヒントがある。

(茂木健一郎『思考の補助線』による)

(注) ^{*1} 賢者の石——西洋において、物質の性質を変える、人間に不老不死をもたらすといった力があると考えられた石。こ

^{*2} ここでは、社会の状況を変えることができる方法といった意味で用いられている。

^{*2} トリガー——出来事のきっかけ。

^{*3} 冒頭に……——本文に先立つ部分で筆者は、日本の論壇で「個性」の行きすぎが「戦後民主主義」とからめて批判的に議論

されたことに対し疑問を呈している。

問1 傍線部(ア)～(オ)に該当する漢字を含むものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

21

17

(ア) ノウコウ

17

- a 急コウバイの坂を下る
- b 経験者をコウグウする
- c セイコウな作りの模型
- d おおみそか大晦日のコウレイ行事
- e 思考がコウチヨクする

(イ) ケイキ

18

- a 直情ケイコウな性格
- b 事故のハイケイを探る
- c 貸借のケイヤクをする
- d 交通安全をケイハツする
- e 自然のオンケイに浴する

(ウ) ナイホウ

19

- a ホウガクを好んで聞く
- b 農作物のホウサクを願う
- c 作家の筆致をモホウする
- d ホウソウ紙を質素にする
- e 絵馬を神社にホウノウウする

(工)

シゲキ

20

- a ショウ末節にこだわる
- b ショウシ 千万な出来事
- c 大シキユウ取り掛かる
- d シンシ 態度で接する
- e 世相をフウシした作品

(オ)

カクトク

21

- a 小麦をシユウカクする
- b 通学路のカクフク工事
- c 情報からカクゼツされる
- d 歴史ある会社のエンカク
- e 水産資源をランカクする

問2 空欄

i

に入る一文として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

22

- a 個性を磨くコミュニケーションが不足すると、社会は同質化してしまう。
- b 日本におけるコミュニケーションの内実とは、どのようなものだろうか。
- c 力学をどう設計するかが、コミュニケーションの作用を決するのである。
- d 人と異なることを排除するコミュニケーションは、厳に慎む必要がある。
- e コミュニケーションの多種多様な作用が、その社会のありようを決める。

問3

空欄

I

IV

い。なお、二つある I IV に入る語として最も適当なものを、次の各群の a～e の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

II

には同じ語が入る。

I

23

・ II

24

・ III

25

・ IV

26

I a 副次的

b 突発的

c 本質的

d 積極的

e 両義的

II a 函谷関 かんこくかん

b 剣が峰

c 登竜門

d 天王山

e 分水嶺 ぶんすいれい

III a 極言

b 甘言

c 寓言 ぐうげん

d 箴言 しんげん

e 放言

IV a ドグマ

b バイアス

c イデオロギー

d シンメトリ

e パラドックス

問4

二重傍線部「最大公約数的な意見」の意味として最も適当なものを、次の a～e の中から一つ選びなさい。

27

- a 異なる意見を発展的に統合して、誰もが納得するようなものに高めた意見
- b 複数の意見の食い違っていている部分を捨象し、共通部分を抽出したような意見
- c 自分の考えのうち、他人から賞賛されそうな内容だけを前面に押し出した意見
- d 社会の中で多岐に渡っている考えを一つにし、「同化」を促す働きをする意見
- e 他人が発した考えのうち、最も大事な部分だけをわかりやすく抜き出した意見

〈リハビリテーション〉学部志願者のみ解答してください

問5 傍線部A『強化学習』とあるが、ここでいう「強化」の意味を正しく踏まえたものとして最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

28

- a 水や食物、金銭、さらにはコミュニケーションにおける他者からの承認のような外部的報酬ではなく、脳内報酬物質が人の個性の「強化」に直接的に関与していく。
- b 進化の淘汰圧の中でそれなりに生きのびることのできる「人格」を一つに決めることはできず、脳内報酬系の作用によってさまざまな方向に「強化」されていくことになる。
- c 個性をよしとする社会においては人と違っていることが承認される傾向が、没個性をよしとする社会においては人と同じであることが承認される傾向が「強化」されていく。
- d 人は他人と同じことが評価されればそれ以後も同様の振る舞いをして、他人と異なることが評価されれば他人と異なる振る舞いをして賞賛されたいという思いが「強化」される。
- e 日本人のコミュニケーションの現状は不幸なことに個性を強化する方向には働かず、ウイーンの宮廷のようなあるべき「報酬構造」を備えた場所こそ個性の輝きは「強化」される。

問6 傍線部B『公共の福祉』のような概念を大文字のそれとして不用意に立ててしまわない」とあるが、これを言い換えた次の文の空欄に入る語として最も適当なものを、後のa～eの中から一つ選びなさい。

29

「公共の福祉」のような概念を

□ のものとしなさい。

- a 金科玉条
- b 厳正中立
- c 大言壮語
- d 外交辞令
- e 格物致知

〈看護学部志願者のみ解答してください〉

問7 筆者の主張を踏まえると、日本社会において「個性」が輝くような組織を形成するにはどのような点に気を付ければよいか、二百字以内で解答用紙に述べなさい。なお、自分がこれまで所属した組織、もしくはこれから所属する可能性のある組織を想定した具体的な内容を含めて述べること。

30

注 意 事 項 続 き

3 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。マークは **HB・B** の鉛筆(シャープペンシル可)で濃くマークしなさい。解答用紙を折ったり曲げたりしてはならない。

例えば

2

 と表示のある問に対して **c** と解答する場合は、次の(例)のようにマークシートの **2** の解答欄の **c** にマークしなさい。

指定欄以外へマークした場合は解答が読み取れなくなる場合があるため、記入しないこと。訂正は、消しゴムできれいに消すこと。

(例)

解答 番号	解答欄				
	a	b	c	d	e
1	(a)	●	(c)	(d)	(e)
2	(a)	(b)	●	(d)	(e)

(マークの仕方)

良い例	悪い例
●	

4 看護学部志願者にはマークシート式解答用紙に加えて記述式解答用紙・下書き用紙が1枚ある。受験番号欄に受験番号5桁を記入しなさい。氏名を記入してはならない。

受験番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;">00603</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">看護学部志願者のみ解答 国語Ⅱ問7 解答用紙</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">下書き用紙</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-image: linear-gradient(to right, #ccc 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, #ccc 1px, transparent 1px); background-size: 10px 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; background-image: linear-gradient(to right, #ccc 1px, transparent 1px), linear-gradient(to bottom, #ccc 1px, transparent 1px); background-size: 10px 10px; text-align: center; vertical-align: middle; font-size: 2em;">下書き</div> </div> </div>
---	--

5 試験終了後には、リハビリテーション学部志願者は問題冊子の上にマークシート式解答用紙を裏返して置きなさい。看護学部志願者は問題冊子の上に記述式解答用紙、その上にマークシート式解答用紙を裏返して置きなさい。解答用紙の回収後は監督者の指示に従うこと。

6 問題冊子は持ち帰ること。